

第Ⅰ部 計画の趣旨

① 計画の背景	2
② 計画の位置付け	3
③ 計画期間	4
④ 京都市の特色	4
⑤ 子ども・若者やその家庭を取り巻く現状	5
⑥ 策定の基本理念	10
⑦ 目指すべきまちの姿	10

第Ⅱ部 具体的方策

第1章 本計画における重要事項

① 子ども・若者、子育てにやさしい「こどもまんなか社会」づくり	12
② 子ども・若者の意見反映	13
③ 「居場所」と「出番」	14
④ 子どもの育ち	16
⑤ 多様な支援ニーズへの対応	18

第2章 施策の体系

① ライフステージを通じた施策	19
① 子ども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有等	19
ア 社会全体での認識共有	19
イ 子ども・若者の社会参画促進や意見反映の機会充実	19
② 多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり	20
③ 特に支援を要する子ども・若者やその家庭への支援	20
ア 貧困家庭の子ども・若者への支援	20
イ 障害のある子ども・若者への支援	21
ウ 児童虐待対策・社会的養育の推進	22
エ ヤングケアラー・若者ケアラーへの支援	23
オ ひとり親家庭支援	23
④ 子ども・若者の自殺対策、犯罪・事故などから子ども・若者を守る取組	24

② ライフステージに応じた施策 25

子どもの誕生前から幼児期まで

- ① 妊娠前から支える、安心して妊娠・出産できる環境づくりと切れ目ない保健・医療の提供 25
 - ア 安心して妊娠・出産できる支援の充実と体制強化 25
 - イ 乳幼児や子育て家庭の健やかな成長のための場づくり 26
- ② 幼児教育・保育 27
 - ア 幼児教育・保育の体制確保と質の向上 27
 - イ 多様な幼児教育・保育の提供 27

学童期から思春期まで

- ③ 子どもの教育環境 28
 - ア 子どもたちが夢と志を持って可能性に挑戦するために必要な力をはぐくむ教育の推進 28
 - イ 安心・安全な教育環境の確保 29
 - ウ 成年を迎える若者への情報提供と教育 29
- ④ 多様な居場所づくりとからだ・こころのケア 30
 - ア 子ども・若者の目線に立った多様な居場所づくり 30
 - イ 相談体制の充実と保健・医療の提供 31

思春期から青年期へ

- ⑤ 若者の自己成長と社会参画 32
 - ア 多様なライフデザイン形成への支援 32
 - イ 若者が持つ多様な力を活かした社会づくり 32
- ③ 子育て当事者を支える施策 33
 - ① 子ども・若者、子育てにやさしい「こどもまんなか社会」づくり 33
 - ア 子ども・若者を支える地域のネットワークづくり 33
 - イ こどもまんなかまちづくり 33
 - ウ 「こどもまんなか社会」の実現に向けた担い手の育成・確保 34
 - エ 機運醸成と情報発信 34
 - ② 子育てや教育に関する経済的負担の軽減 35
 - ③ 地域子育て支援と家庭教育支援 36
 - ④ 「真のワーク・ライフ・バランス」の促進 36

第3章 各種需給計画 ～ニーズとサービス量の見込み～

① 子ども・子育て支援事業計画	37
① 教育・保育提供区域の設定	37
② 幼児教育・保育の量の見込み並びに提供体制の確保の内容及びその実施時期	37
ア 小学校就学前児童数の推計	37
イ 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の教育・保育の量の見込み	38
ウ 2029（令和11）年度末 提供区域別確保必要量	39
エ 保育提供体制の確保方策	39
③ 地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びに提供体制の確保の内容及びその実施時期	40
④ こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）の量の見込み並びに提供体制の確保の内容及びその実施時期	45
② 障害児福祉計画に掲げる数値目標	45
③ 社会的養育推進計画に掲げる数値目標	46

第Ⅲ部 計画の推進に当たって

① 計画の進捗管理	48
② 計画の体系	49



子ども・若者の皆さんに向け、「第Ⅱ部第1章 本計画における重要事項」をわかりやすくまとめた「京都市はぐくみプラン〈2025-2029〉やさしい版」も作成しました。



◀やさしい版も、京都市情報館ホームページにおいて公開しています。
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000337415.html>